

## 第2回 議会改革推進特別委員会記録

令和3年11月15日(月)

11時41分～12時00分

全員協議会室

- 【委員】 牛尾委員長、西田副委員長  
足立委員、村武委員、小川委員、佐々木委員、田畑委員
- 【委員外】 柳楽議員
- 【議長団】 笹田議長
- 【事務局】 下間書記、古森局長、近重議事係長
- 

### 議 題

1 議会改革に関する引継ぎ検討項目について

2 その他

○次回開催 12月 13日(月) 予算決算委員会終了後～ 全員協議会室

## 【議事の経過】

(開議 11時41分)

牛尾委員長

第2回議会改革推進特別委員会を開会する。全員出席である。

**議題1 議会改革に関する引継ぎ検討項目について**

牛尾委員長

前回の議会改革の特別委員会の引き継ぎ検討項目が七つある。順番に。この議会改革の特別委員会、初めて参加の方が約二人いる。ほかの方は議会改革に関する委員会に精通しているが、半分そうでないので、一応これを説明させていただく。七つある。

1番の「政策討論会のあり方について」は、ここに書いてあるように、「政策討論会規程があるものの、実際の運用との整合性も含めうまく活用できてない状況がある。浜田市議会にふさわしい政策討論会のあり方について検討する」としている。

二つ目は「議員選出監査委員の廃止について」は、「監査や議選監査委員の役割等について議員研修会を開催し、監査業務を十分理解した上で、議選監査委員の必要性について検討する」としている。

この件については全国的に見れば、議選の監査は必要ないのではないかというのが大勢だが、一応、現監査委員に来てもらって、監査のあり方や必要性については説明を受けたが、ここに書いてあるように専門の方に来ていただく予定にしていたがコロナで流会して、ということになっている。

3番目、「多様な人材が議員に立候補しやすい環境整備について」では「令和3年7月5日に議会改革に関する検討結果（第6回）において報告した内容について、具体的な検討をする」ということである。

1. 住民参加の機会の拡充による議会への理解度向上
2. 議員に立候補しやすい環境整備の充実
3. 議会による主権者教育やシティズンシップ教育の推進
4. 議会におけるICTの活用と推進

続いて4番目、「政策サポーター制度」では、今年のマニフェスト大賞優秀賞の中にもあったが、政策サポーター制度、そこそこ脚光を浴びていたような様子があった。

「県立大学との連携の必要性、大学の知見活用についての意見があった。その他に、長野県飯綱町の議会政策サポーターを参考に、外部サポーター制度について協議した。これらを初め、他市の事例を参考にしながら、必要性も含め検討をする」。ということである。

5番目、「議会BCPの作成について」では、改選前は未検討であった。「大規模災害や新型感染症などが発生した場合でも、議会の機能を停止することなく、議会運営するための「(仮)浜田市議会業務継続計画」の作成について検討を行う」ということである。この件については非常

に重要な問題で、今回のマニフェスト大賞の中でも相当BCPがレベルの高い状況で作成されていた何市かが表彰されていた。

続いて6番、「議会図書室の整備と市民開放」では、改選前は未検討。「議会図書室の活用がなされていない現状を含め、市民への開放について検討を行う」としている。

7番、「委員会代表質問について」では、改選前、未検討。「各常任委員会が取組課題を設定し、調査研究を行いながら市長へ要望書等を提出している現状を鑑み、個人一般質問や会派代表質問とは別の取り組みとして、実施の必要性、時期等の検討を行う」ということである。

以上7項目が申し送りの主な項目である。これに加えて次回までに皆から、この2年の中で検討していただくようなことがあれば上げていただいて、それらを全て土俵に上げながら今後2年間の中で優先順位をつけながらやっていくということを、次回決めていきたいと思っている。

ここまでで何かご質問あるか。

下間書記

この資料、表になっているのだが、備考に「前回の検討資料」というところで、例えば1番上だったら令和3年3月9日の議員定数等議会改革推進特別委員会の資料2の1から2の3というのを参考に議論したと、朱書きで書いている。

3番目の「多様な人材が議員に立候補しやすい環境整備について」というところで、前回の検討資料に線が引いてあると思うが、長押ししてみしてほしい。そうすると、検討結果が出てきたと思う。このような感じで検討結果を議長に提出している。具体的なもう少し詳しいことが書いてあるので、また読んでいただいて、この部分については、この検討結果を見ていくだけでもかなりのボリュームがある。この中にサポーター制度にかかわる部分が入っていたり、出前講座みたいなものも入っていたり、これを検討するだけでもかなりのボリュームがあると思う。

朱書きのところを検討する際には、過去の資料を見ていただきながら検討していただければと思う。

牛尾委員長

ちなみに今回皆ご承知だと思うが、浜田市議会、はまだ市民一日議会のやり方、この間リモートで副議長が発表して、13日の表彰を僕は聞いてないのだが、久しぶりにマニフェストの関係で賞をもらったということで、よいことなので報告しておく。

あとは七つの項目だけでも相当なボリュームがあるということだったが、せっかく初めてこの委員会にお出かけになった方もいるし、ぜひこういうことをやったらどうだろうかというのを次長に送ってもらって、次回はこの七つの項目にそれもプラスして、合わせながらこの2年間どういうことをやっていくかも含めて話をしたい。

書記も申したように、参考資料があるので少し読み込んでもらってやっていかないと、特別委員会、議員間討議もあるが相当レベルを上げて今日まで来ているので、少し追いついてもらう必要がある感じもするの

で、その辺は一つ皆で十分学習していただくようお願いする。この第6回の資料は相当ある。副委員長から何かあるか。

( 「BCPについて説明を」という声あり )

BCPというのは簡単に言うと、例えば本庁にコロナが出て立ち行かなくなった、そうすると金城支所に本庁機能を移して市役所機能を温存するとか、そういうことをあらかじめ、災害などを予定にしながら準備をしておくという。議会も例えばコロナで回らなくなったというときにはそれでよいのかということもあって、ではどこか違う場所に議会の機能を求めて、リモートで議会を運営していくとかそういうことかと。

下間書記  
牛尾委員長

はい、事業継続計画のことである。

このBCPで今年マニフェスト推進奨励賞か何かをもらった自治体もある。事業継続計画、例えばすごい災害で市役所がやられた、すると市役所機能が動かなくなってしまうので、そういうときには例えば金城支所に市役所の機能を持って行って、今までやっていた市役所機能を金城で回すとか、そういう事業継続計画。

下間書記

災害などになっても市役所の事業はどこかでやらないと住民サービスが低下するので、そういうのを継続していけるような計画をつくるというものである。

牛尾委員長

全国の約800市議会の中でも、相当BCP計画を作成しているところがある。むしろ遅いくらいで。これはぜひこの2年間の中でも優先順位は高いのではないかと。最優先という声があったが、それに準ずることだと考えている。資料が十分ついているのでしっかり次回までに読み込んでもらって。それと今、七つの項目の中プラス、ぜひやってみいたいことがあれば次回の開催前にメールで次長まで送ってもらいたい。次の開催はまだ決まってない。では次回の開催を決めようか。

## 議題2 その他

牛尾委員長

12月定例会議中に1回やるということで、とりあえずよろしいか。

( 「異議なし」という声あり )

12月6日に個人一般質問が終わって7日が議案質疑だが、早いか。予算決算委員会が13日から始まるが。

一応どうだろうか、可能性とすれば13日。予算の審査はかかっても午前中くらいで終わるだろう。では13日、終了後ということでもよろしいか。

( 「異議なし」という声あり )

はい。それぞれご意見があれば、メールは10日までに送ってもらえばよいか。

下間書記

はい。10日ならお昼までがよい。9日の夕方か、10日のお昼までかどちらかをお願いしたい。

牛尾委員長

では9日の午後5時までに、皆それぞれお考えがあればメールで送ってほしい。ただ、既に七つあるので、皆がお一つずつ出されたら回らな

いかもしれないので、その辺は十分考えていただいて。別段、無理して出さなくて結構なので、十分あるので。そういうことでよろしく願います。

下間書記

では12月9日の木曜日の午後5時までにメールで送っていただきたいのと、この表に加えていきたいと思うので、検討項目何々についてと書いていただいて、大まかな内容を書いていただけたらうれしい。もし参考になるような資料があれば、それも添付していただけたら次の特別委員会のときに提示させていただくので願います。

牛尾委員長

今回からのこの議会改革推進特別委員会なのだが、西田副委員長と僕のコンビでやっているが、皆が例えば、描いている言葉と事業の中身がそれぞれ共通ではないので、今後は例えば、どこの市のこういう事例がよいので取り組んでみたら、というようなプレゼンをされるときには、その事業の中身くらいまで併せてプレゼンしてもらって、事業そのものが皆の頭の中に共通して描けるようなテーマを目の前に描いて、そこで共通事項について議論するというをやっていききたい。

今まで皆いろいろよいことを言われるのだが、言葉だけでは中身がわからないので。今後この2年間の中でいえば、それぞれ新たな提案については中身について同時にプレゼンしてもらって、これこれこういうことだと。こういうことを導入してはどうか、検討してはどうかということをやっていただきたい。これから初めてやるのでうまくいかどうかかわからないが。なるべく共通認識を持って議論ができるようなたたき台を示して、その上で議論するやり方にぜひしていただきたい。そうしないと空理空論だけで終わってしまうようなことが、過去幾つかあったような気がしたので、できればそのように足並みをそろえていただきたいと願っておく。よろしく願います。

村武委員

ということは追加提案する場合は、12月9日の午後5時までにメールを送る、そして次回のこの委員会の12月13日に、プレゼンをするということか。

牛尾委員長

そのように受けとめてもらってよい。特に新しい提案は、例えばどこの市がこういうことをやっている、すごいことなのだというレベルではなく、中身はこれこれこうで、これはこうなのだと、そこまで説明していただきたい。そうしないとほかの委員の共通認識が得られないと思うので、その辺まで踏み込んで提案していただくよう、よろしく願います。ほかにないか。

( 「なし」という声あり )

それではとりあえず今日はこれで終了する。次回3回目の日程を決めたのでよろしく願います。何か漏れがあるか。

下間書記

ない。

牛尾委員長

では以上で終了する。

(閉議 12 時 00 分)

浜田市議会委員会条例第 65 条の規定により委員会記録を作成する。

議会改革推進特別委員会 委員長 牛尾 昭 ㊞